

不耕起播種機を用いた暖地型永年牧草地へのイタリアンライグラス追播による増収効果

背景

○暖地型永年牧草(バヒアグラス)は、冬期に生育が停滞するため、冬期から春期の自給粗飼料の確保が困難

目的



○冬季～春季の自給粗飼料を確保するため、不耕起播種機を用いたイタリアンライグラスの追播による年間収量の増収を図る

研究内容

○イタリアンライグラスの追播は永年牧草地の放牧利用を想定し、草丈50cmで5回刈り取り、収量を調査

※不耕起播種機:施肥・播種・鎮圧作業を1工程で実施可能

付属のディスク等で播種溝を作り、その溝に播種、覆土鎮圧ディスクで覆土鎮圧する



不耕起播種機による追播状況

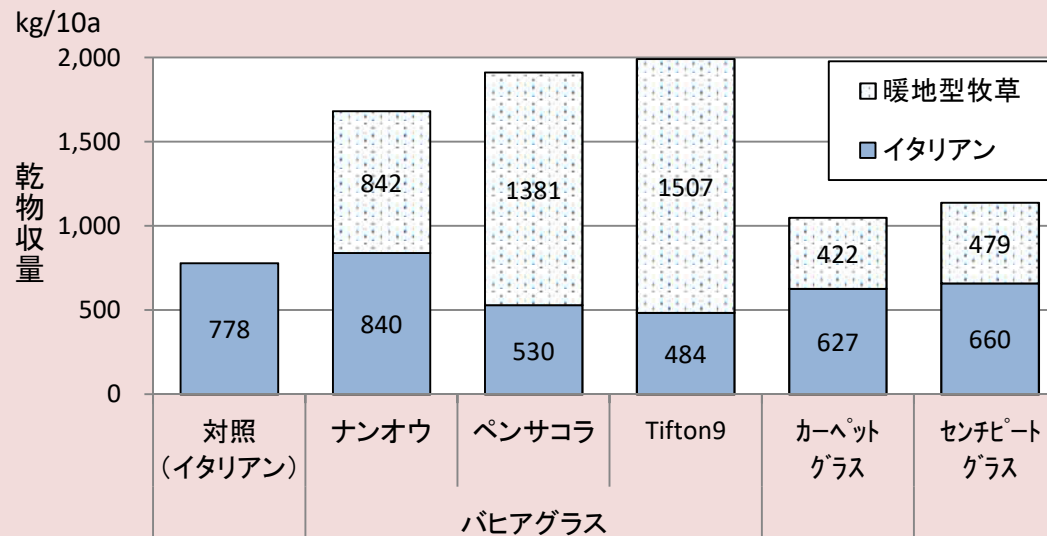
成果の内容・特徴

企画環境飼料部

○不耕起播種機を用いて、暖地型永年牧草地にイタリアンライグラスを追播すると、(草丈50cm, 5回刈り)

乾物収量484～840kg/10aの増収

○バヒアグラス「ナンオウ」、「ペンサコラ」、「Tifton9」、カーペットグラス、センチピートグラス草地で追播可能



今後の展開

暖地型永年牧草地以外の草地・畑地等で、不耕起播種機を利用した省力栽培体系の確立により、粗飼料自給率を向上